

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4128
21年2月19日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

「回答が準備できたのがいつかはっきりしない」 準備出来ていたのに放置していたという事か！

おはようございます。

2月17日、支部は長中局と定例窓口を開催しました。定例窓口では、1月22日に申し入れを行なった「新型コロナウイルス感染症のセルフPCR検査の検体を内容物とする郵便物等（以下対象郵便物）の取扱いに関する緊急申し入れ」に対する回答が行われました。申し入れを行った日は新型コロナウイルスの第3波により、長崎でも県独自の緊急事態宣言が発令中の1月22日でした。長中局には早期の回答を求めていましたが、1カ月近くたってようやく回答が行われました。

今回は回答を掲載する予定でしたが、この間の経過について定例窓口で双方の主張に相違があったため、公平を期すために支部からの質問と局の回答、それに対する支部

の考えを掲載します。申し入れに対する回答は次回掲載する予定です。

さて、この間の交渉の経緯は未来4126号にも掲載しましたが、長中局からは事実と異なる部分があるとの申し入れがありました。支部は回答までの経緯をはっきりさせなければ事実関係はつきりしないと判断し、確認のため、以下の質問を行いました。

支部からの質問と長中局の回答は左下の枠内に記載しています。応答分を見ていただくとわかると思いますが、長中局の回答は支部の質問に適した回答ではありません。



「木で鼻を括る（くくる）」という、ことわざがあります。「無愛想に対応する。冷淡にあしらう」などの場合に使いますが、まさに長中局の対応は「木で鼻を括る」的です。こんな対応では信頼関係

は築けませんし、とても正常な労使関係とは言えません。長中局には猛省を求めます。



以下は、（長中局が）支部の問いに的確に答えてないと考える部分。
1, について。「長中局で考える」では、全てなのか一部なのかわかりません。2, について。これも「長

中局で考える」ですが、支部に許可を得ることなく、全て長中局の責任で考えるという理解でよいのでしょうか？「これまでの「支社が」「支社が」はなんだったのでしょうか。」

3・4, は論外です。支部の「回答準備ができたのはいつなのか」に対して「日にちは、はっきりわかりません」とはどういう事でしょうか？回答は出来たら直ちに行うのではないのでしょうか？これでは「回答は、いつ出来たかわからないがら

い以前に出来たが、支部に回答しなかった」という事になります。

これが回答に関する支部と長中局の応答の一部及び、組合の疑問です。今後申し入れに対する回答と合わせて精査し再度交渉を行う予定です。

この対応が正常な労使関係でしょうか。皆さんどう思いますか？



「対象郵便物の取扱いに関する緊急申し入れ」に対する長中局の対応、及び経過に関する確認での応答内容 (2月17日)

1. 組) 今回の申し入れの5項目の回答について、長中局だけで判断できるものはあるのか？
局) 長中局で考える。
2. 組) 項目別に長中局で作成した回答を支社に送って許可をもらうのか？支社から送られてきた回答に長中局が加筆、修正して支社に送り返して許可をもらうのか？それとも支社の判断を仰がず長中局独自に回答するのか？
局) 長中局で考える。
3. 組) 2月10日に回答を求めた際に2月17日に回答することで長中局、支部双方合意したが、回答準備ができたのはいつなのか？
局) 日にちは、はっきりわかりません。
4. 組) 日程調整の際、長中局労担は支部窓口担当の来週(2月15日からの週)の勤務を聞いてきた。17日ではなくても15日や16日でも回答準備はできていたのでは？
局) はっきりわかりません。
5. 組) 回答に時間がかかった理由は？
局) きちんとした回答を準備するのに時間がかかった。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員に正社員化を。

めろが、均等待遇、なぐさし差別！

「ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！」

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-海江田, 2 集-向井, 3 集-山田, 支部・分会の役員へ。